

情報ひろば



行方市の人口

総数 36,522人 (-89)
男 18,188人 (-24)
女 18,334人 (-65)
世帯数 12,746世帯 (+11)
平成28年4月1日現在
※外国人住民を含む
()は前月との比較

行方市民憲章

やさしい自然
かがやく人
わたしたちがつくる
魅力あるまち、行方市



市の花

ヤマユリ

(山百合)



市の木

イチヨウ

(銀杏)



市の鳥

シラサギ

(白鷺)

行方市のうた

(1番)
われを育む 里山は
大地の恵に 満ちあふる
朝日 湖に輝き
夕日 山の端そめる
ああ ふるさと わが希望
(2番)
祭りばやしに 心おどり
風土記の里に 童の声はすむ
谷津田 風にそよぎ 稲穂
黄金に輝く ああ ふるさと
ああ わが 安らぎ
(3番)
古のなごり 受けつぎし
大空 はばたく 子どもの
夢を 育む 学舎は 拡く心の
礎 ぞ ああ ふるさと
ああ わが未来 あー

市役所 開庁時間

平日(月曜～金曜)
午前8時30分～午後5時15分
※休日窓口業務については、
お問い合わせください。

監査委員・教育委員会委員・公平委員会委員がそれぞれ選任、任命されています。

市の監査委員(選任)・教育委員会委員(任命)・公平委員会委員(選任)が、議会の同意を得て市長から選任・任命されています。

退任された大橋和範監査委員の後任には、鈴木宏監査委員が選任されました。

また、邊田益男教育委員会委員は再任されました。任期満了により退任された中村タカ子公平委員会委員の後任には、松金美智子公平委員会委員が選任されました。

それぞれ任期は4月1日からの4年間です。

◆監査委員(識見を有する者)

鈴木 宏氏

◆教育委員会委員

邊田 益男氏

◆公平委員会委員

松金 美智子氏



鈴木監査委員、市長、邊田教育委員会委員、松金公平委員会委員

「資源ごみ集団回収団体」募集のお知らせ

市では、ごみの減量、再資源化による「環境にやさしいまちづくり」を進めるため、資源ごみの集団回収団体を募集します。家庭から出るごみには、新聞・ダンボール・雑誌・空きビンなどの再資源化のできる物があり、これらを回収して業者に売却した量目により、1団体あたり年額2万5千円を上限として奨励金を交付します。

詳しくは左記までお問い合わせください。

問 環境課(北浦庁舎)
0299-135-2111



クールビズ(夏の軽装)を実施します

市では、地球温暖化防止「国民運動」の一環として地球温暖化防止・二酸化炭素排出量削減のため、市職員の「ノー上着・ノーネクタイ」の「クールビズ」を実施しております。

また、夏期の冷房温度も28度を目安にするとともに、各所の照明の節電に取り組んでおります。

皆さまのご理解とご協力をお願いします。



◆期 間 5月1日～10月31日

【問い合わせ】総務課(麻生庁舎) ☎0299-72-0811

過払い金回収
↑相談¥0 着手金¥0 成功報酬制!
借金整理・交通事故・離婚
LEGAL PLUS **秘密厳守**
弁護士法人 リーガルプラス
茨城県弁護士会所属
かしま法律事務所
124号イオンそば
☎0299-85-3350(平日・土曜日10:00～18:00)
リーガルプラス 検索 代表弁護士 谷 靖介

スマートフォンをお持ちの方は、
2次元コードから行方市公式ホームページをご覧ください。



行方市公式ホームページ
閲覧用2次元コード

「市民 100 人委員会」は男女共同参画社会の 1 つのかたち

行方市副市長 西野 孝子

行方市では、この 3 月に地方創生に向けた総合戦略書を策定しました。今後 10 年間で掲げた目標を達成できるよう重点事業を進めていきます。策定にあたっては、市民の参画による「市民 100 人委員会」を設置し、無作為抽出による市民 3,000 人の中から参加意思のある方に集まっていただきました。メンバーは男性 6 割、女性 4 割、職業もいろいろ、年齢も 20 代から 70 代までと幅広く、さまざまな世代や立場の方々に、それぞれの視点で、子育てや教育、医療、農業の振興など、これからの行方市について話し合い、施策としてまとめることができました。まさにこれが「男女が共同で参画する社会」の一例です。最近では、「ダイバーシティ＝多様性」と表現されることもあります。

これまでの計画づくりでの市民参画といえば、公募も一部には行ってきましたが、構成は市議会議員や各種団体の長など男性中心となっていました。そういう意味では、100 人委員会の取り組みは画期的なものです。すべての委員は自らの意思によるものであり、何より 4 割が女性です。率直に予想外の好結果でした。行方市の将来に関心を持ち、よくしていきたいという気持ちが行動にあらわれたのだと思います。市民の半数を占める女性の代表として、女性目線での施策が盛り込まれました。男女共同参画社会への大きな一歩です。

これからは、この 100 人委員会のような市民の参画を基本として、市民と行政（市）が一緒に考える計画づくりや重点事業を増やしていかなければなりません。

そこで、まずは、今年度も市民参加を募る市民 100 人委員会への参画（無作為抽出でのアンケート対象が前提ですが）から始めてみてはいかがでしょうか。皆さまの声を幅広く市政に反映させていきましょう。特に女性の参加をお待ちしています。



100 人委員会では活発な論議が交わされました



常陽銀行

- 麻生支店：行方市麻生 1135-31
TEL:0299-72-0551
- 玉造支店：行方市玉造甲 337
TEL:0299-55-0101
- 北浦支店：行方市山田 1301-1
TEL:0291-35-2121

行方市で いっしょに 健康づくり

健康保険・労災・交通事故 受付

山下鍼灸整骨院

行方市船子 7-4 TEL 0299-77-5959

詳細は行方市ホームページのバナー広告をご覧ください。

<http://namegata.mypl.net/shop/00000337549/>